

進路だより

山形県立ゆきわり養護学校
進路指導部
平成28年3月10日(木)発行
第5号

卒業生保護者(高等部3年生)の経験に学ぶ

学校を卒業し社会へと旅立つ高等部3年生のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。お子さんのこれからの生活を考え、よりよい進路先へとこれまで検討していらしたことでしょう。その卒業生の保護者の皆様から、どのように進路先を考え決めることができたのか、また、ご存じの福祉サービス、心がけていることなどを教えていただきました。在校生の皆様の参考になることを願って、ご紹介させていただきます。

Q1 卒業してからの進路先を考えたり決めたりするのに、参考になったことを教えてください。

- ・ 学校主催の施設見学や就業体験が進路先を考える参考になりました。(複数)
- ・ 相談支援事業所と相談しながら施設見学をしました。
- ・ 近くではその施設しかなく、卒業生も利用していたので希望しました。
- ・ 先輩の保護者の方や「山形市・県肢体不自由児者父母の会」の方に情報を聞いたり相談にのってもらったりしました。
- ・ 学校入学前から施設へ見学に行っており、その印象が良く、本人に合うかなと考えていました。就業体験で本人もとても楽しそうにしていました。
- ・ 新しい施設ができていたり、施設が増設したり、受け入れが変動していたりするので、いろんなところから情報を入手できるようにしておくといいと思います。地元の卒業した先輩方から新しくできる施設の情報など聞きました。
- ・ 西村山地区は、生活介護事業所が満員状態で、受け入れてくれる事業所がなかなか見つかりませんでした。が、学校と相談支援事業所が連携して就業体験先を紹介してくださり、利用につながりました。



Q2 ご存じの福祉サービスやネットワークなどを教えてください。

- ・ 相談支援事業所から、居宅介護や同行援護のサービスを紹介してもらいました。
- ・ 相談支援事業所から、「南陽の里」の短期入所、「ジャパンケア」の入浴支援を紹介してもらいました。
- ・ 主治医から、「アンジェルマンの親の会」を紹介してもらいました。
- ・ 「山形市・県肢体不自由児者父母の会」
- ・ 「バンビーナ」(山形市の放課後児童デイサービス事業所)
- ・ 「ひまわり会」(西村山心身障がい児・者協会)
- ・ 「虹の会」(寒河江市心身障がい児・者協会)
- ・ 「ぼけっとぴーす」(西村山地区のお母さんたちのおしゃべりカフェ等)



Q3 ご家庭において日ごろ心がけてきたことや、卒業後の生活に向けて心がけたいことを教えてください。

- ・ 児童デイサービスや送迎サービスを利用し、多くの方とのかかわりができたので、人とかかわり合う喜びをたくさん体験することができました。家族以外の方との時間を多く作るように心がけました。
- ・ 放課後デイの利用、寄宿舎入舎、短期入所をすることにより、親元から離れても心身共に成長していくことがとても感じられました。いろんな方と関わることは、とても大事なことだと思います。
- ・ 進路先は高等部の早いうちに行きたい所を決めた方がよいと思います。中学部から卒業を見据えて、食事・トイレなどどこでも誰とでもできるように取り組んだ方がよいと思いました。
- ・ いろんな人とコミュニケーションがとれるようにしました。
- ・ いろんな人とかかわれるように、参加できそうな行事にはなるべく参加してきました。
- ・ 挨拶できるように、日頃から声がけをするようにしてきました。
- ・ 健康管理、特に風邪をひかないように気をつけました。



お忙しい中、ご協力いただいた高等部3年生の保護者の皆様、ありがとうございました。